

日本政策投資銀行(DBJ)から DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンでの資金調達を実施

東急株式会社

当社は、株式会社日本政策投資銀行(以下、DBJ)との間でDBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン(以下、本ローン)による金銭消費貸借契約を本日締結しました。「環境ビジョン2040」に基づくサステナビリティ・リンク・ローンについては、本ローンが初となります。

本ローンは、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に基づき、貸付人であるDBJが対話を通じて借入人のサステナビリティ経営高度化に資する適切なキー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」という。)とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPT」という。)の設定をサポートするとともに、借入人のSPTに対するパフォーマンスと貸付条件とを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境課題及び社会課題の解決を通じた持続可能な社会の実現と持続的な企業成長の両立を促進・支援することを目指すものです。DBJは、借入人のSPT達成に向けた主要な取り組みを「対話テーマ」として設定し、貸付期間中の定期的な対話を行うことにより、SPTの達成に向けた伴走を行います。

当社は、グループスローガン「美しい時代へ」のもと、公共交通と都市開発を一体としたまちづくり企業として「脱炭素・循環型社会」をマテリアリティに掲げ、環境と調和する持続可能なまちづくりを推進してきました。

本ローンでは、「環境ビジョン2040」で掲げたGHG排出量削減目標をKPIおよびSPTとして設定しています。

【DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンの概要】

契約締結日	2026年3月31日
借入額	13,844百万円
KPI	東急及び連結子会社のGHG排出量削減率
SPT	2030年度GHG排出量削減率 55%(2019年度比)

なお本ローンで調達した資金は、鉄道事業の設備投資資金に充当し、環境負荷の低い設備・機器や新型車両の導入、気候変動適応に向けた対策などを通じて、当社のサステナブル経営を推進します。

以上

【参考】

■当社関連リリース

「環境ビジョン2040」へのリンク

環境と調和する街の実現に向けた取り組みをさらに推進するため「環境ビジョン2040」を策定 ～「なにげない日々が、未来をうごかす」をコンセプトに、環境目標を更新・新設します～ | ニュースリリース | 東急株式会社

■対話報告書へのリンク

https://www.dbj.jp/upload/dbj_news/docs/FINAL_2025FY_taiwa.pdf

本ローンの「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への準拠性について、詳細は対話報告書をご参照ください。